六本木三丁目児童遊園周辺地区
整備検討会ニュース

第14号

令和６年 10 月発行　港区

秋晴の候、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

日頃より港区のまちづくりへご理解・ご協力を賜り感謝申し上げます。

港区では「六本木三丁目児童遊園周辺地区」の治安の改善を図るとともに、安全・安心な環境整備と新たなにぎわいの創出を目指し、検討を行っています。

そこで、去る8月28日に地元の皆様にご意見を伺う「六本木三丁目児童遊園周辺地区整備検討会（以下、検討会）」の（第11回）を開催しました。

本紙では、検討会のご報告と当日いただいた主なご意見をご紹介いたします。

今後も検討会ニュースにて、整備に向けた検討状況をご報告して参りますので、ご理解・ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

1 第 11 回検討会開催のご報告

第11回検討会では、安全・安心な地区の実現に向けた今後の検討事項等について、これまでの検討経緯を確認するとともに、７月に実施した、AI を活用した防犯カメラシステムの導入に向けた試行実施を踏まえた「特殊な管理運営」についてご説明いたしました。

当日はたくさんの貴重なご意見をいただきました。いただいた主なご意見は裏面にてご紹介いたします。

次回検討会でも引き続き、安全・安心な地区の実現に向けた取組についてに継続して議論させていただきたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

開催概要

■日時：令和６年８月28日（水）
18：30～20：30

■場所：麻布地区総合支所　会議室

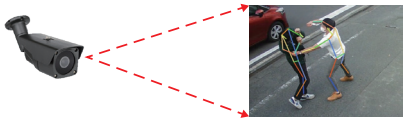
■出席者：９名（オブザーバー３名）

特殊な管理運営方法（検討中）

AI 防犯カメラシステム＋警備員の駆け付け体制等の構築

・迷惑行為等を検知して、即時アラートを発報する防犯カメラシステムの構築
・アラートに対応して現地に駆け付ける、警備員の体制の構築

（AI カメラでの骨格等による迷惑行為の検知）



安全安心の向上にも資するデジタルサイネージシステムの構築

・公衆トイレのデジタルサイネージで、区政・地域の情報や、**安全安心の向上にもつながる情報等の提供**を行うシステムを構築

（公衆トイレ壁面のデジタルサイネージ）

IoT を活用したトイレの維持管理体制の構築

・誰もが安全・快適に利用できる公衆トイレを維持できるよう、清掃頻度・内容の充実や、IoT を活用した維持管理の効率化

（トイレ清掃の充実）

画像出典：TOTO HP（https://jp.toto.com/company/press/product/toilet/ 2021 04 21 011220/）

2 当日の主なご意見と事務局からの回答

1．児童遊園及び公衆トイレの開放について

●トイレを**24時間開放する必要**はない。**地元がトイレの夜間閉鎖を望んでいるのであればそうすべき**である。

●トイレを夜間閉鎖するのであれば、**問題が起きてからでは遅い**ため、**最初から閉鎖すべき**である。

●**港区のトイレを24時間開放するという考えは、状況をわかっていない**。立ち小便があったとのことだが、どこの街でも起きることである。**夜間開放するが故に起こる弊害の方が多い**。

●最初の懇談会で、当地区周辺には他にもトイレがあるため、**トイレをなくすと最初に言ったのは港区**である。それにも関わらず、**今の港区はトイレを24時間開放しなければ困るという真逆のことを言っている。港区が責任を持って開放するのか閉鎖するのか落とし込まなければならない**。

●**最初の懇談会で港区として、トイレをなくした方が良い、残した方が良いということまでは言及していなかった**。

●**トイレの夜間開放については反対**である。夜間開放はニーズがあって出てきている話ではなく、**港区として安全安心の象徴にしたいという思いからきている一方で、どうしてもやりたいという意思も感じられない**。そのため、現時点で**そこまでして開放する必要があるか**と思ってしまう。

●近隣にお住まいの方が一番不安に思っている。いくら“このようにする”といっても不安は解消されていない。**安全安心の“安心”は心の問題**である。**これだったら安心だとは現時点では言えない**だろう。

●**児童遊園のフェンスは外すべきではない**。フェンスを外すことによってかかるランニングコストや安全性の面を考えれば、フェンスを残した方が区民・住民に取って利益が大きい。**フェンスを取れるように近隣住民も努力するが、今外すのは早い**だろう。**安全性の確保を優先的に考えて**もらいたい。

●フェンスは**デザインの工夫によっては、見栄の良いものとなる**。また、**電動シャッター等で、昼間は開放し、夜間は閉鎖**することができるのであれば、夜間警備の必要もなくなるのではないか。

●**当地区を良い場所にしたいというところから検討が始まっている**。それにも関わらず、フェンスで囲われて、トイレも使えない場所となっては、危険の象徴をずっと置いておくこととってしまう。**トイレの24時間開放とフェンスの撤去に対する治安対策が特殊な管理運営方法の提案**と理解している。

2．特殊な管理運営方法について

●**AIカメラの活用とトイレの夜間開放は別問題**である。**AIカメラは犯罪が起きた際の話であり、犯罪を未然に防ぐものではない。トイレの夜間開放のために費用をかけるのは本末転倒**である。そのような税金の使い方はしてほしくない。

●**AIカメラの活用は、かなり費用が掛かる**かと思う。港区の公衆トイレは当地区だけではないのにも関わらず、これだけ費用をかけて良いのかと思ってしまう。

●**六本木にしかない最先端の、六本木に相応しいトイレをつくってほしい**。AIを活用するのであれば、六本木のトイレはAIが活用されていると宣伝する勢いで進めてほしい。

●AIカメラは初期は精度が低いかもしれないが、**自己学習機能で精度が高まることで安全安心につながる**だろう。**人の目に代わって、機械の目を活用しつつ、警備会社等と連携**できるようにしてもらいたい。**先進的な取組**でとても良い。

●AIカメラの活用は、**個人情報保護法**にも関わるため、弁護士も含めて検討すべきである。海外のように警察が管理するのであれば問題ないが、**間に民間企業（警備会社）が入るのは危険**である。**誰が責任を持つのか**。

3．その他について

●**議論を深めておらず、賛否ある状況**であり、反対の意見を言ってる者同士、自分の意見が通ったと思っている。**一つ一つ議論を潰していかなかったために堂々巡りになっている**。

●**一歩進めるためには勇断が必要**である。そのうえで、**近隣住民等の弱者も納得するようなもの**であってほしい。

本日いただいた意見を踏まえて皆様が不安を抱えていることは理解したため、港区・警察・地元等でフラットに話す場（座談会）を設けたいと考えている。そのような会を開催して皆の合意をもって勇断し、前へ進められればと思う。

◎ご質問・ご意見等、随時受付けておりますので、下記までご連絡ください。
連絡先：港区麻布地区総合支所　まちづくり課　まちづくり係（担当：飯塚・大石）
［TEL］03-5114-8815　［FAX］03-3585-3276